



2025年9月30日

各 位

上場会社名 株式会社 フェリシモ  
代表者 代表取締役社長 矢崎 和彦  
(コード番号 3396)  
問合せ先責任者 取締役 経営企画室長 宮本 孝一  
(TEL 078-325-5555)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年4月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2026年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2025年3月1日～2025年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,789	10	64	50	7.13
今回修正予想(B)	14,255	202	247	215	30.31
増減額(B-A)	△534	192	182	165	
増減率(%)	△3.6	—	281.2	324.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年2月期第2四半期)	14,254	△15	16	△24	△3.51

### 修正の理由

2026年2月期第2四半期(累計)における当社グループの業績見通しは、営業利益が202百万円と前回発表予想を192百万円上回る見通しとなりました。これは主に、ファッションの特定商品のバリューチェーン(企画、生産、販売体制)を見直し、各工程を一体化する新手法の導入によってヒット商品を創出することで売上原価が減少し、売上総利益率を改善させたことが要因です。また、前期4月から運営を開始した神戸ポートタワーにおいて、著名アーティストや人気キャラクターとのコラボ企画が奏功し、集客数が増加したことで営業利益を押し上げました。これらの結果、経常利益につきましても247百万円と前回発表予想を182百万円上回る見通しであり、親会社株主に帰属する中間純利益も215百万円と前回発表予想を165百万円上回る見通しであります。

下半期につきましては顧客獲得による売上高の増加や、原価率の改善による売上総利益の増加を引き続き目指してまいります。一方、急激な為替の変動等の不確実性が高い状況にあることから通期の業績予想につきましては前回発表予想を変更していません。

※上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上